



12/18

地域スポーツ振興に31年

全国スポーツ推進委員功労者表彰 受賞報告



宜野湾市スポーツ推進委員会の会長を務める友寄辰六さん（ともよせ たつろく）が、長年にわたる地域スポーツの振興と普及への多大な貢献が認められ、「全国スポーツ推進委員功労者表彰」を受賞されたことを報告しました。友寄会長は、約31年という長きにわたりスポーツ推進委員として活動。地域の自治会や児童館などでの指導をはじめ、市民がスポーツを通じて健康でいられるよう、現場の第一線で尽力されてきました。

12/19

九州大会初優勝、全国大会出場を市長へ報告

沖縄SV U-18 初優勝を果たし全国大会へ



沖縄SV（エス・ファウ）関係者の皆さんが市役所を訪れ、11月に開催された「KYFA2025年度 第29回 九州クラブユース（U-18）Town Club CUP」にて見事初優勝という素晴らしい成績を収め、九州代表として全国大会へ出場することが決まったことを報告しました。選手を代表して本市在住の天久真之介選手（中部商業高校3年）は「いい結果を出せるように全力で頑張ります。応援お願いします！」と意気込みを語りました。

12/25
1/5

市政運営と教育行政を支える新体制

新代表監査委員・新教育委員 辞令交付式



12/25（木）宜野湾市代表監査委員に米須清盛さんが新たに就任しました。また、1/5（月）教育委員に玉城健蔵さんが新しく就任しました。米須新代表監査委員は「『最小の経費で最大の効果を出す』という言葉を常に念頭に、監査に臨んでまいります」と語り、玉城新教育委員は「安心して通える学校づくり、地域から信頼される学校づくりに尽力したいと思います」と話しました。

12/9

真志喜中学校の田村風仁選手・大湾梓選手

JOCジュニアオリンピックカップ出場を報告



「JOCジュニアオリンピックカップ第39回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」に、沖縄県選抜チームの一員として出場することが決定した真志喜中学校3年の田村風仁選手と大湾梓選手が、大会出場のため市役所を訪れ、市長および教育長から激励を受けました。大湾選手は「試合の流れを変えられる選手として、勝利に貢献したいです」と意気込みを語りました。

12/10

「家族」への思いを言葉に

第17回「響き合う言葉のコンテスト」表彰式



令和7年度 第17回「響き合う言葉のコンテスト」表彰式が、市民会館で開催されました。今回は「家族」をテーマに、市内小中学校から118点の応募があり、その中から最優秀賞9名、優秀賞18名が選ばれました。伊波保勝教育長は「短い言葉の中に込められた『ありがとう』の気持ちが、家族の絆の大切さを改めて教えてくれました。言葉を通して思いを伝える力を、これからも育ててほしい」と語りました。

12/17

想いを子どもたちの笑顔のために

「ぎのわんハート♡プロジェクト」寄附金贈呈式



「ぎのわんハート♡プロジェクト」寄附金贈呈式が、宜野湾市役所にて行われました。本プロジェクトは引退された沖縄出身のアーティスト・安室奈美恵さんへの想いを未来につなぐ取り組みとして発足し、オリジナルグッズ販売などの収益を基金として積み立て、県内の児童養護施設へ寄附を行ってきました。これまでの寄附総額は500万円に達し、今年度も県内9つの施設へ100万円の寄附を贈呈しました。

12/4

議会と市が連携し、市民生活の向上へ

市議会からの政策提言へ回答を手交しました



「第10回議会報告及び市民との意見交換会」で寄せられたご意見・ご要望をもとに協議・検討した政策提言に対して、回答書が手交されました。佐喜眞淳市長は「市議会からのご提言に加え、市民意見に対する申し送りを真摯に受け止め、今後の市政運営に活かしてまいります」と述べ、呉屋等議長は「今後とも市と連携しながら市民生活の向上に取り組んでまいりたいと思います」と話しました。

12/8

民生委員・児童委員の新たなスタート

民生委員・児童委員感謝状贈呈式・就任式



任期満了に伴う民生委員・児童委員の一斉改選が行われ、退任される委員の皆さまに感謝状が贈呈され、新たに任命された16名の委員の皆さまへ委嘱状が伝達されました。退任委員を代表して知念肇さんは「支え合いやつながりの大切さを実感し、かけがえのない経験となりました」と述べました。新任委員を代表して桂浩史さんは「学びながら地域のために尽力していきたい」と決意を語りました。

12/9

次代を担う子どもたちの声

「社会を明るくする運動」作文コンテスト受賞報告



『第75回「社会を明るくする運動」沖縄県作文コンテスト』で受賞した島勇翔さん（普天間第二小6年）、石川琴遥さん（真志喜中2年）、金城あゆさん（宜野湾中3年）が受賞報告を行いました。作文は、自身の体験を通して、犯罪や非行のない地域社会について考えたことや感じたことを綴ったものです。佐喜眞淳市長は「大人とは異なる視点や感性を大切にしながら成長してほしい」と伝えました。



10/30

黄川田内閣府特命担当大臣

普天間飛行場視察



普天間飛行場視察のため、黄川田仁志内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）が宜野湾市役所を来訪しました。市役所の屋上から普天間飛行場を視察し、佐喜眞淳市長より同飛行場の概要説明を行うとともに、同飛行場の一日も早い閉鎖・返還と速やかな運用停止、基地跡地利用の推進等を訴えました。

11/30

木原内閣官房長官

普天間飛行場視察



普天間飛行場視察のため、木原稔内閣官房長官が宜野湾市役所を来訪しました。市役所の屋上から普天間飛行場を視察し、佐喜眞淳市長より同飛行場の概要説明を行うとともに、同飛行場の一日も早い閉鎖・返還及び速やかな運用停止、危険性の除去及び目に見える形での負担軽減、基地跡地利用の推進等を要請しました。

12/2

宜野湾中3年 イブラヒミ ベヘシタさん

「少年の主張大会」優秀賞受賞



宜野湾中学校3年のイブラヒミ ベヘシタさんが、令和7年度沖縄県「少年の主張大会」で優秀賞を受賞しました。ベヘシタさんは、7歳でアフガニスタンから沖縄へ移住。言葉や文化の違いに悩みながらも、乗り越えてきた体験を綴った主張「透明の壁」で、市大会最優秀賞、中頭大会優秀賞に続き、県大会でも高い評価を受けました。ベヘシタさんは「支えてくれた皆さんに感謝しながら、宇宙に関わる仕事という夢に向かって努力を続けたい」と今後の抱負を述べました。